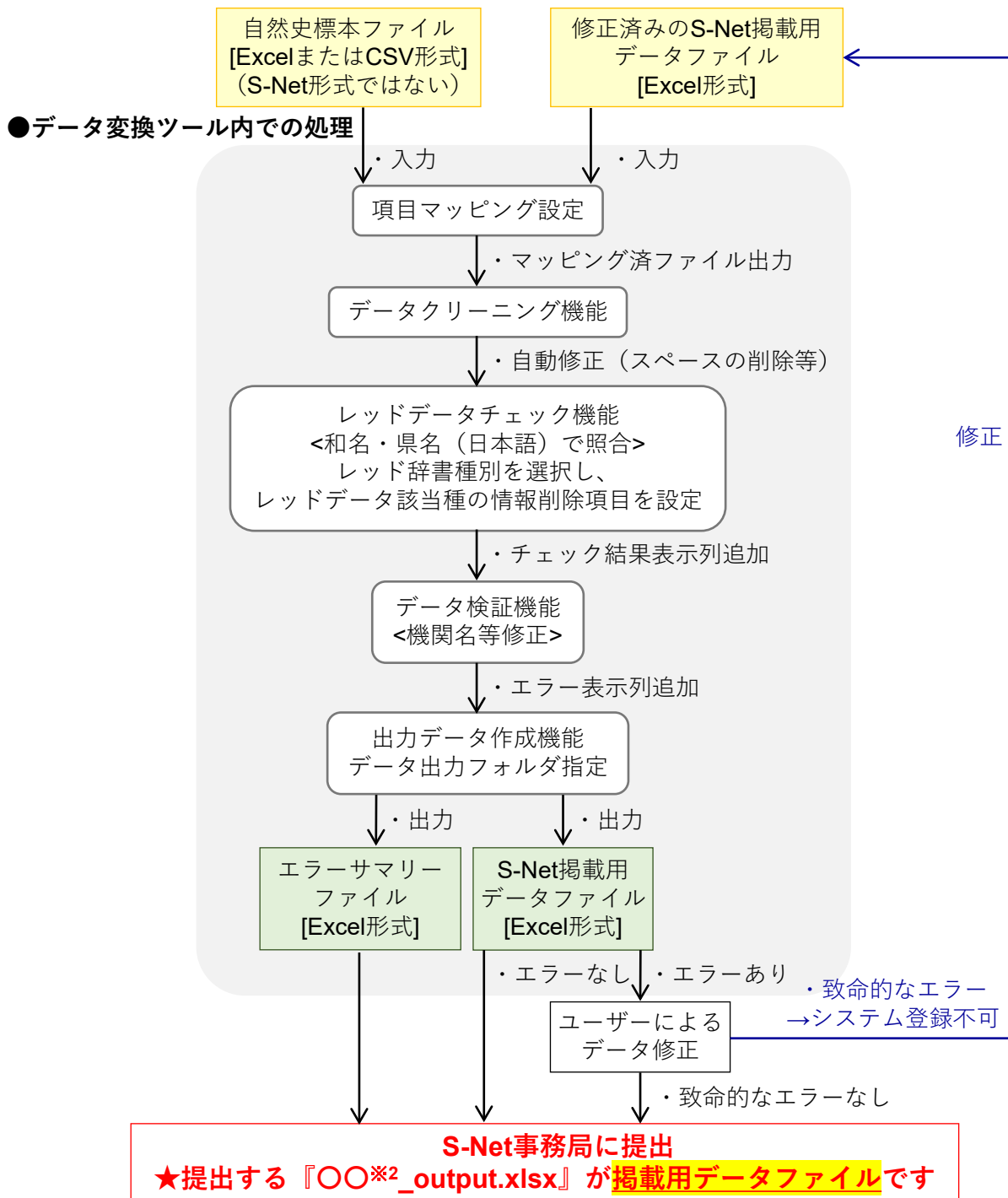


データ提供の流れ（S-Net形式データ作成）

データ変換ツール※1を用いて、自館のデータをS-Net形式へ変換し、エラー等を修正のうえ提出します。提出されたデータは事務局にて確認を行い、問題がなければデータの受領完了となります。詳細な使用方法是、「データ変換ツールマニュアル編」をご確認ください。

1. S-Net掲載用データファイルの作成

データ変換ツールを用いて、提供予定の自館データを入力ファイルとして指定し、S-Net掲載用データファイルを作成します。



※1 データ変換ツールのマニュアルとプログラムは S-Net サイトの「参加機関・参加検討中の機関の方へ」からダウンロードできます。詳しい使い方は「マニュアル編」を参照してください。

※2 任意のファイル名で問題ありません。

- ・データクリーニング：表記ゆれや不要な空白などを修正し、データを整える作業。
- ・データ検証：データの形式や内容が規則に適合しているか確認する作業。
- ・マッピング済ファイル：自館項目とS-Net項目を対応付けた後の出力ファイル。
- ・レッド辞書：レッドリスト等との照合に使用する辞書データ。



2. 受付チェック

提出されたS-Net形式のデータは、以下の3点について事務局で確認を行います。

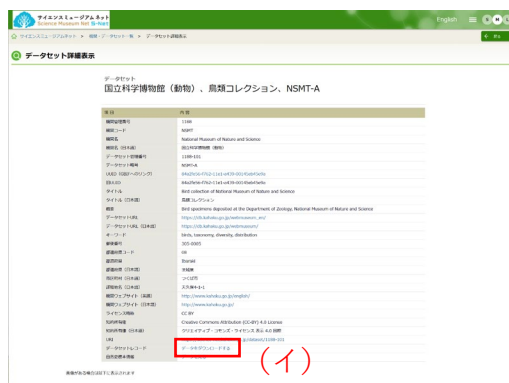
①データ変換ツールでのチェック

事務局でも、再度データ変換ツールを用いてデータにエラーがないかを確認します。

②重複チェック

提出予定のデータについて、既にS-Netで公開されている自館データとも照合し、カタログ番号（標本番号）の重複がないことを確認します。

S-Netトップページ（ア）「機関・データセット一覧」→（イ）該当データセットを選択し、自館のデータセット情報をダウンロードできます。



③規制種のチェック

提供データの中に法律で規制されている種が含まれていないかを確認します。以下の表を参考にします。

ID	分布	科名	属名	種小名	著者	和名
植物						
1	帰化	アサ科	Cannabis	sativa	L.	アサ
2	栽培	ケシ科	Papaver	somniferum	L.	ケシ
3	帰化			setigerum	DC.	アツミゲシ
4	帰化			somniferum subsp. setigerum	(DC.) Arcang.	アツミゲシ
菌類						
1	国内	モエギタケ科	Psilocybe	argentipes	K. Yokoyama	ヒカゲシビレタケ
2	国内			cubensis	(Earle) Sing.	ミナミシビレタケ
3	国内			fasciata	Hongo	アイセンボンタケ
4	国内			luncheonporus	(B. et Br.) Horak et Guzman	ヤブシビレタケ
5	国内			subaeruginascens	Honel	オオシビレタケ
6	国内			subcaerulipes	Hongo	アイゾメシバフタケ
7	国内			venenata	(Imai) Imazeki et Hongo	シビレタケ
8	国内	ヒトヨタケ科	Copelandia	cyanescens	(Berk. et Br.) Sing.	アイゾメヒカゲタケ
9	国内		Panaeolus	papilionaceus	(Bull. :Fr.) Quel.	ワライタケ
10	国内			sphinctrinus	(Fr.) Quel.	ヒカゲタケ
11	国内	モエギタケ科	Psilocybe	subbalteatus	(Berl. et Br.) Sacc.	センボンサイギョウガサ
12	海外			subcubensis	Guzman	なし
13	海外			tampansensis	Guzman et Pollock	なし

【表：規制種リスト】

3. 事務局での確認事項と対応

①－③で確認事項等があった場合、データをお返しするとともに修正を依頼いたします。
やりとりにお時間をいただく場合がございますので、できるだけ不備がないことをご確認のうえ、掲載用データをお送りください。

①－③の問題がなければ、データ受領完了のご連絡をいたします。

その後【様式5】完了通知書と【様式6】請求書を発行いたします。

※新規機関・新規データセット登録の機関は、別途以下の書類も必要となります。

【様式2】メタデータ登録票

【様式3】データ利用権回答書

詳細は事務手続き編に記載しておりますので、併せてご確認ください。



★【超重要】データ提出★

S-Net/GBIF事務局に提出するのはExcel形式の『**S-Net掲載用データファイル**』と『**エラーサマリーファイル**』です。

1. S-Net掲載用データファイル

ファイル名を「〇〇_output.xlsx」として保存します（〇〇は任意のファイル名）。

提出ファイルがそのまま掲載されます。**S-Net**形式になっているか、レッドデータ該当種が削除されているかを確認してください。

2. エラーサマリー

エラーサマリーファイル「〇〇_error_summary.xlsx」として保存します（〇〇は任意のファイル名）。本ファイルは、データセットごとのチェック結果を一覧にしたシートです。内容をご確認のうえ、必要に応じてデータの修正またはコメントの追加を行い、**S-Net**掲載用データファイルとともにお送りください。